

熱中症とは

熱中症とは、体の中と外の“あつさ”によって引き起こされる、様々な体の不調であり、専門的には、「暑熱環境下にさらされる、あるいは運動などによって体の中でたくさんの熱を作るような条件下にあった者が発症し、体温を維持するための生理的な反応より生じた失調状態から、全身の臓器の機能不全に至るまでの、連続的な病態」と、されています。（熱中症という漢字には、読んで字のとおり、「熱に中る」という意味をもっています。

熱中症は、熱波により主に高齢者に起こるもの、幼児が高温環境で起こるもの、暑熱環境での労働で起こるものについては、労働環境改善などにより以前に比べ減少してきているとされてきましたが、近年の環境条件により増加傾向が伺われます。また、スポーツなどにおいては、一時増加傾向にあり、その後減少に転じましたが、下げ止まりのような状況になっており、依然、死亡事故が無くならない状況にあります。

熱中症というと、暑い環境で起こるもの、という概念があると思われませんが、スポーツや活動中においては、体内の筋肉から大量の熱を発生することや、脱水などの影響により、寒いとされる環境でも発生しうるものです。実際、11月などの冬季でも死亡事故が起きています。また、運動開始から比較的短時間（30分程度から）でも発症する例もみられます。



分類	程度	症状
度	軽症度	四肢や腹筋などに痛みをともなった痙攣（けいれん）（腹痛がみられることもある） 多量の発汗の中、 <u>水（塩分などの電解質が入っていない）のみを補給した場合に、起こりやすい</u> とされている。 全身の痙攣は（この段階では）みられない。
	中等度	めまい感、疲労感、虚脱感、頭重感（頭痛）、失神、吐き気、嘔吐などのいくつかの症状が重なり合って起こる 血圧の低下、頻脈（脈の速い状態）、皮膚の蒼白、多量の発汗などのショック症状が見られる。 脱水と塩分などの電解質が失われて、末梢の循環が悪くなり、極度の脱力状態となる。
度	重傷度	意識障害、おかしな言動や行動、過呼吸、ショック症状などが、 <u>度の症状に重なり合って起こる</u> 自己温度調節機能の破綻による中枢神経系を含めた全身の多臓器障害 重篤で、体内の血液が凝固し、脳、肺、肝臓、腎臓などの全身の臓器の障害を生じる多臓器不全となり、死亡に至る危険性が高い。

お知らせとお願い

- お盆の間も通常通り診察しております。
- 南玄関は、救急車の出入り口になっておりますので、お車の駐車等のご遠慮いただきますようお願い致します。
- 毎月、最初に来院された時には健康保険証の提示をお願いしております。また保険証の資格変更の予定や更新等のある方は、受付に申し出ていただきますようお願い致します。

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します。
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します。

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。
私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・ 医療を受ける権利
- ・ 知る権利
- ・ 自分で決定する権利
- ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院